

巻頭言『成長させて下さる神さま』

あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。神は、教会の中にいろいろな人をお立てになりました。第一に使徒、第二に預言者、第三に教師、次に奇跡を行う者、その次に病気をいやす賜物を持つ者、援助する者、管理する者、異言を語る者などです。

コリントの信徒への手紙一 12章27～28節

3月を迎えました。昨年の秋に子どもたちと一緒に植えたチューリップの球根が、今年は、寒い日が続いたせいでしょうか…やっと芽を出し、葉が巻き始めました。園舎からは、子どもたちの歌声で『♪球根の中には♪』の讃美歌が聞こえて来ます。

今、この大切な子どもたちの園生活を支えてくれるスタッフが、学童支援員含めまして66名おります。学童支援員が12名、認定こども園の中で保育士、事務、給食、看護師、それぞれの管理職含めて54名で支え合っております。

毎月発行のキリスト教保育誌(以後、キ保誌に略)を基に各部内のミーティングにて園長、各主幹は重ねて出席し学び合います。各自事前に読んできたことを前提に聖書の学びと各年齢に応じた具体的学びの感想、発表を指定時間内に伝えます。その発表者は、その場でくじ引きで決まるので誰が当たるかわかりません。(笑)

目的は、キ保誌を皆が読むことでキリスト教保育を学び、保育に携

わるスタッフ一人ひとりが同じ方向である神さまと一緒に見上げることです。私自身も毎回 15 分から 30 分弱は発表を聴きつつ、語りますので必然学ばされます。

そしてこの小さな歩みがこの園を通してキリスト教に触れ、キリスト教を学び、教会の支えと働きを知り、キリスト教保育の根本である聖書の学びにつながって行くことを信じて祈りつつ進めております。

先日のミーティングにて、一人の保育者が発表することになりました。彼は、キリスト教保育誌の中から I コリント 3:16 の聖句「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させて下さったのは神です。」を捉え、「保育を進めていく中で自分自身の力不足を感じたり、悩むこともあるが、私たちはアポロであり、日々の保育を精一杯ささげて行くしか無い時がある。そんな時、しかし、成長させて下さったのは神です。この聖句にどれだけ救われてきたことだろう。この牧師先生の文章にあるように神さまが子どもたちを成長させて下さることを目の当たりにしてきた。そのことを、信じて歩むことができるか試されているし、今精一杯、子どもたちに向き合って行きたい」と話してくれました。

私たちには、こんな素晴らしい保育者が与えられ、同労者として学びつつ、キリスト教保育と一緒にできることは、本当に神さまからの大いなる祝福だと心から思います。そして、神さまからの導きを信じて、皆で祈り合い進んで行きたいと思います。

日本バプテスト保育連盟の歴史

日本バプテスト保育連盟(通称:バ保連)は、日本バプテスト連盟発足直後第4回連盟年次総会(1950年)で結成が決議されました。

当初、幼稚園・保育園の開設や設備(ピアノ等)充実の補助等を「フォーリミッショナボード」(American Board of Commissioners for Foreign Mission)から受ける為の仲介的な働きを行っていました。

その後、幼児教育充実発展に伴い学校法人化の課題等に関わり今日に至っています。

2024年度役員

- ・ 会 長：田中秀一 シオン山教会
(北九州市 愛の園保育園 園長)
- ・ 副会長：久保田信人 和歌山バプテスト教会
(和歌山市 和歌山ひかり幼稚園 副園長)
- ・ 役 員：石垣慶子 仙台基督教会
(仙台市 仙台バプテスト教会幼稚園 園長)
- ・ 役 員：中島美香 目白ヶ丘教会
(新宿区 目白ヶ丘幼稚園 園長)

ご支援を頂ければ幸いです

日本バプテスト保育連盟は、イエス様が大切にされた最も小さきこどものために働かれる保育者の研修や情報交換、情報提供のため、各園からの会費によって運営されています。我々の理念にご賛同いただき、運営に対する献金をお献げ頂ければ幸いです。

☆振込先・ゆうちょ銀行

記号：17470

番号：83555851

・他行から

店名：七四八(店番748)

普通：8355585

・名前：日本バプテスト保育連盟

(ニホバプテストキョウメイ)

・祈りの課題

- ①日本バプテスト保育連盟の働きのために
 - ②教会の方々が保育現場へ導かれるために
 - ③教職員の主日礼拝参加と喜びのために
- 皆さまの祈りに加えて頂ければ幸いです。

お知らせ

・日本バプテスト保育連盟HPを立ち上げております。URLは<https://bahoren.com/>です。ご覧いただければ幸いです。QRコードからもHPへ移動することが出来ます。



・2025年8月7(木)～9日(金)2025年度日本バプテスト保育連盟総会及び保育者研修会を、日本バプテストキリスト教目白ヶ丘教会において、実施いたします。

7日開会礼拝・総会・情報交換会

8日園見学

9日教員研修

講師キリスト教保育連盟 理事

尚絅学院大学子ども学類教授

東義也先生

派遣礼拝

尚、8月8日の園見学は、都内幼稚園・保育園の複数施設にご協力をいただき、参加者の人数が確定しましたら、見学のコース及び訪問時間等をお知らせいたします。

園紹介 東京第一バプテスト学園 こひつじ幼稚園

～キリストの愛につつまれて～

こひつじ幼稚園は1917年アメリカ南部バプテスト連盟直属の板橋バプテスト講義所に幼稚園が開設されたことに歴史が始まります。1945年に空襲で全焼をし、場所を現在の世田谷区瀬田へと移転、教会は「東京第一バプテスト教会」として創立されます。幼稚園は4年間の休園の時を経て、1949年に「こひつじ園」として再開し、1999年学法化により東京第一バプテスト学園「こひつじ幼稚園」となります。幼稚園の歴史は創設から休園を経て現在までで104年の歩みとなり、教会と共に地域にキリストの愛を伝える働きを担ってきました。建てられた場所は、都心に近くはありますが、神奈川との県境の多摩川を臨める二子玉川の駅から坂を上った小高い場所にあります。絵本との出会い、手作りの保育を大切にしながら、歩みが守られてきました。

今年の嬉しい出来事は、同じ世田谷区にありバプテスト保育連盟に所属する泉教会付属いづみ幼稚園からお声かけをいただき、両園の年長児の交流が始まりました。双方の園をお互いが訪問する形で、数回の合同保育でしたが子どもたち同士は名前を覚え、仲間意識をしっかりと築く事が出来、訪問する喜び、迎える嬉しさを経験しました。それぞれの園に保育の特徴がありますが神さまと一緒に祈りできること、賛美の声を合わせられること、そしていっしょに神さまにつながっていることへの安心をいただく貴重な経験となりました。3学期にはもう一つのクラスのように、名前を呼び合い別れを惜しむ姿、お互い卒園に向かっていこうとする姿に教師も教えられるものがあり、教師同士も良い交流と学びの時となりました。

4年前より新制度施設型給付幼稚園として歩んでいますが、少子化のすすむ中、幼稚園としての良い部分を大切に残しつつ、時代の変化の中にこれからの歩みを見て、キリスト教保育を実践していきたいと願っています

東京第一バプテスト学園 こひつじ幼稚園 園長 加藤 泉

毎週水曜日の合同礼拝



作品展
「はっぱ」



いづみ幼稚園の年長さんと

